

社会の“ふつう”を問い直し、課題を解決する力の育成をめざして
～大阪が大切にしてきた人権教育の継承と発展～

1枚め



第1回 研究部会

府立人研だより

大阪府立学校人権教育研究会事務局
2025年5月23日 第5号発行

教材部会

6月13日(金)14時より 府立柴島高等学校

阪急京都線「崇禅寺」駅より南 約300m
阪急千里線「柴島」駅より西 約300m

☆お願い☆

名札と上履きをご持参ください

教材部会

「集団づくり」を考えよう

私たちはなぜ集団づくりに取り組むのか? - 基礎編 -

報告:大阪府教育センター附属高等学校 大阪府立野崎高等学校

「先生方の勤務校は、全生徒・全教職員にとって、安心して安全な集団ですか?」

「集団づくり」とは何なのか。今年度の教材部会ではこれを皆さんと一緒に考え・学び・深めていきたいと思ひます。

さて、「集団づくり」と言えば、クラス開きでワークを通して自己紹介をしたり、校外学習でのレクリエーションを通して交友関係を構築したりといったことをイメージされる方が多いと思ひます。もちろんその側面もありますが、この教材部会で考えていきたい「集団づくり」は、日々の学校生活における生徒たちの“誰かが傷つくような言葉”や“いじり”など、クラスや学年のなかでの生徒たちの気になる行動について、生徒たち自身が考えられるようになることを目的としています。これらの問題解決に取り組むためには、“相手が嫌だと思ひるかかわり方や発言に気づくこと”が必要です。課題解決に向けて、いろいろな方法を選択できる集団づくりについて考えていきましょう。

1回めの教材部会では先生方に「なぜ集団づくりに取り組むのか?」、「なぜこのワークをするのか?」ということと一緒に考えていきたいと思ひます。

全3回の研究部会を通して、どのタイミングでどんなワークや仕掛けをすると効果的なのかなど、さまざまな集団づくりの実施方法や工夫等を研究していきます。複数回の参加でも、1回だけの参加でも安心して参加していただけるよう計画していますので、ぜひご参加ください。

また、人権学習教材交流会も行いますので、他校の実践を知る良い機会になると思ひます。実際に使用した教材や取り組もうと思ひている人権教材、題材にしようと思ひている資料等を40部準備してお持ちください。



◆◆会場へのアクセス◆◆
◆阪急京都線「崇禅寺」駅より南へ約300m
◆阪急千里線「柴島」駅より西へ約300m

府立人研 大阪府立学校人権教育研究会

〒533-0024 大阪市東淀川区柴島1-7-106 府立柴島高等学校内
(通送便は「府立人研」とお書きください。)

TEL・FAX 06-6324-3822 (直通) (お電話の場合は、火曜日をお願いします。)

E-Mail furitsujinken@nifty.com (お問い合わせは、なるべくメールをご利用ください。)

URL <http://furitsujinken.in.coocan.jp/>

HPはこちらの
2次元コード
から入れます



「府立人研だより」の掲示・配布をお願いいたします。各校の人権教育の充実にお役立ていただけましたら幸いです。

社会の“ふつう”を問い直し、課題を解決する力の育成をめざして～大阪が大切にしてきた人権教育の継承と発展～



2025 年度 第 1 回 進路保障部会

府立人研だより

大阪私立学校人権教育研究会
共 催

大阪府立学校人権教育研究会事務局
2025 年 5 月 23 日 第 5 号 発行

2025 年で阪神・淡路大震災から 30 年が経ちます。今回の研修シリーズでは、過去の震災をもとに、「みんなで助かる」ための自助や共助、地域連携の必要性を知ることを目的とします。

支援を必要とする人の実情や支援方法を知り、安全安心な生活（基本的人権が保障されている環境）とは何か？一人ひとりが地域で暮らす住民として学校と地域が連携した防災と人権の関わりを考える機会になればと思います。

第 1 回 進路保障部会

日 々 防 災 ①

～ ささやかな繋がりの中で ～

日 時：6 月 13 日（金）14：00～17：00（受付 13：30～）

会 場：大阪私学会館【裏面に地図詳細あり】

■報告：府立大手前高等学校定時制の課程・府立人研「防災と人権」チーム
「防災はなぜ人権か？」について、教材・資料をもとにお話しさせていただきます。

■講演：野村 恭代さん（大阪公立大学都市科学・防災研究センター/大学院現代システム科学研究科）
「平時のつながりとコミュニティ防災」と題してご講演いただきます。

地域のなかには、さまざまな人が暮らしています。そのため、地域コンフリクト（対立・葛藤・摩擦など）が起こることも少なくありません。そのような状況を乗り越えて、災害時要配慮者の方々も含むすべての住民が災害時に取り残されることのないように、平時から住民どうしがつながりながら防災のしくみをつくるのが大切です。災害時に地域の力を発揮するためのコミュニティ防災について考えたいと思います。

■情報提供：大阪府 政策企画部 危機管理室 災害対策課

防災アプリの紹介、使い方の説明をしていただき、平時から備えることの重要性についてお話しさせていただきます。

大阪
防 災



←こちらからお申込み
ください。

6 月 11 日 まで

“学校”には、障がいのある生徒、外国にルーツのある生徒、高齢の生徒が在籍しています。支援が必要な人も支援をする人も一緒に助かること、地域を知り、人とつながることの大切さを考えていけたらと思います。

また、府立学校の多くは災害時避難所に指定されています。学校防災計画の策定・見直し等、この機会に防災について一緒に考えてみませんか？

お申込みいただいた方には、防災と人権に関わる書籍リストをプレゼントします。

お気をつけてお越しください。お待ちしております。

*書籍販売あり。

府立人研 大阪府立学校人権教育研究会

〒533-0024 大阪市東淀川区柴島 1-7-106 府立柴島高等学校内
（通送便は「府立人研」とお書きください。）

TEL・FAX 06-6324-3822（直通）（お電話の場合は、火曜日をお願いします。）

E-mail furitsu-jinken@nifty.com（お問い合わせは、なるべくメールをご利用ください。）

U R L <http://furitsu-jinken.in.coccan.jp/>



↑府立人研 HP も
チェックしてくださいね

■講師:野村 恭代(のむら やすよ)さん

大阪大学大学院人間科学研究科修了。専門社会調査士、社会福祉士、精神保健福祉士。現在、大阪公立大学大学院現代システム科学研究科兼都市科学・防災研究センター教授。医療法人に勤務中、生活のしづらさのある人の住まいに対する「施設コンフリクト」を知る。解決策が見出せないため自身で研究することに。2018年10月からは、防災やつながりがテーマの番組「ハートフルステーション」(YES-fm, 毎週水曜日 12:15~)のパーソナリティを担当。

著書に『「障害者」は私たちにとって「やっかいもの」なのか』(東信堂,2024)、『福祉防災のはなし』(技報堂出版,2022)、『地域を基盤とした福祉のしくみ』(東信堂,2022)、『地域を基盤としたソーシャルワーカー住民主体の総合相談の展開』(中央法規,2019)、『施設コンフリクト-対立から合意形成へのマネジメント』(幻冬舎,2018)などがある。



会場にて、以下の書籍の販売を予定しております。

- ・『「障害者」は私たちにとって「やっかいもの」なのか』
- ・『福祉防災のはなし』

是非、この機会に図書関係ご担当者様へご紹介ください。



■情報提供:大阪府 政策企画部 危機管理室 災害対策課

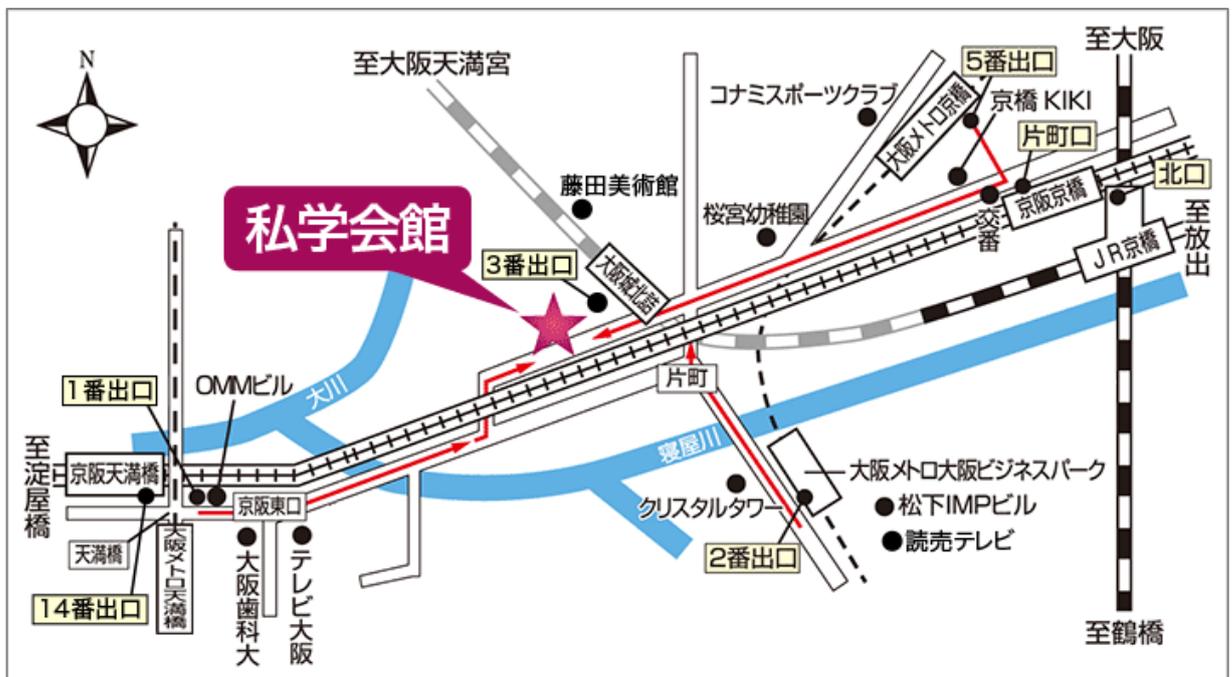


ほうさい
大阪防大アプリ
osaka bousai

会場にWi-Fiはございますが、事前のダウンロードをオススメします。

■会場アクセス

大阪私学会館(大阪府大阪市都島区網島町 6-20)



●【JR 東西線】大阪城北詰駅

3番出口より西(右)へ100m、南側に建物

●【大阪メトロ長堀鶴見緑地線】大阪ビジネスパーク駅

2番出口から地上へ出て北(左)へ、歩道に沿って進み、片町橋を渡りさらに片町交差点を北へ渡り、京阪線高架をくぐり西(左)へ600m、北側に建物